

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	ソーシャル・コンピューティング (荒牧 英治 (教授))		
学籍番号	2211071	提出日	令和 6年 1月 17日
学生氏名	大西 駿太郎		
論文題目	ソーシャルセンサのパフォーマンスと位置情報に関する研究		
要旨			
<p>ソーシャルセンシングとは、ソーシャルメディア上のユーザ活動を計測することで社会的変化を探知することであり、主に、X(旧, Twitter)をプラットフォームとして用いている。</p> <p>ソーシャルセンシングの基本となる前提は、ツイート投稿を観測することにより、対象となるイベントの規模(参加者数や社会的影響)を推定するというものが多い。しかし、投稿数が現実世界の規模に対応しているという仮説自体の検証は、厳密にはされていない。そこで本稿では相関検定により仮説を検証した。結果、仮説は常に成り立つわけではないことを明らかにした。</p> <p>また、位置情報を利用することで、地理的位置を考慮したソーシャルセンシングが行われている。その際、位置情報が付与された投稿が重要であるが、このような投稿は全体の0.4%ほどであると報告されている。</p> <p>不足した位置情報を推定する試みが多く行われているが、未だ基盤となる方法は確立されていない。そこで本稿ではメッセージレベルの位置推定 Web APIを構築し、手法とツールを一般に公開することで、位置情報推定の基盤を確立することを目指した。</p>			